

## < 固定資産の持ち方 >

長期固定適合比率 (X11) = (自己資本 + 固定負債) / 固定資産 × 100

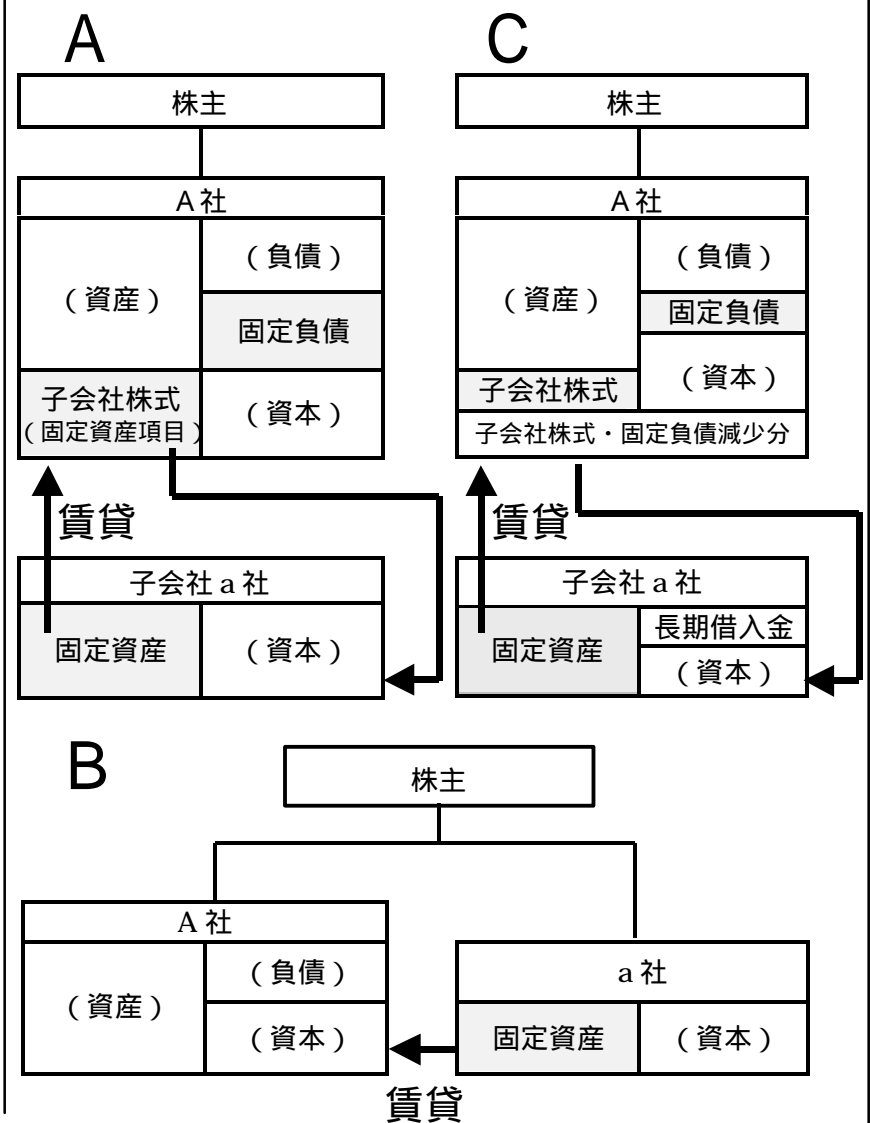
この指標は数値が大きいほど、評点がプラスとなります(上限値 754.5 下限値 26.9)。固定資産がどれだけ自己資本と固定負債で賄われているかをみるものです。自己資本が少なくても固定負債が多ければ指標はよくなります。しかし、固定負債のうち、有利子負債が多ければ有利子負債月商倍率(X8)や純支払利息比率(X9)が悪くなって Wise FAXNET 9月号で取り上げたように、通常、点数が下がります。ですから、固定負債を増やしてこの指標をよくするより固定資産を減らしてこの指標をよくすべきです。

建設業は多くの機械や車両が必要です。必要な投資を抑えていたのでは利益は望めません。しかし、「経審」はその必要な投資をも削るよう迫っているように思えます。「どうしてこんな指標を作ったんだ。」と嘆きたくもなります。もちろん、機械をレンタルしたり、リースにすればこの問題を解決できるかもしれません。しかし、毎日使う機械をレンタルしたのではレンタル料が高くてたまりません。また、リースにすれば買い取りよりも安いのでしょうか。リースは「物融」と言って物で融資を受ける一面を持っています。中途解約は原則できません。融資ですからリース料に金利や手数料等が含まれています。リースの方が高いと思って行動すべきです。

それでは固定資産を減らすにはどうしたらいいのでしょうか。やはり、グループ会社を利用すべきです。グループ会社の作り方は図のように A と B があります。A は建設会社 A 社を中心に縦型に形成されています。B は株主を中心に横型に形成されています。説例では A は固定資産が子会社株式に変わっただけで点数は変化しません。もちろん、子会社 a 社が固定資産を借入金で取得する場合には、建設会社 A 社が直接取得する場合に比べて、A 社から固定資産と借入金が減少し、通常点数が上がります (C の場合)。B は a 社の資本金を株主に出示してもらっている分、建設

会社 A 社は固定資産と借入金が減少し、自社で取得する場合よりも通常点数が上がります。連結決算や固定資産の圧縮を考えると B の方がよい方法です。どのくらい効果があるかは Wisdom99 経審点数アップシミュレーションシステムでご確認ください。なお、機械や車輛等の取得やリースには税制上の優遇措置があるものがありますので税金と「経審」の両にらみで考えることをお忘れなく。

WISENET編集部 松村 清 (税理士)



「Wisdom99 点数アップシミュレーションシステム」の貸借対照表シミュレーションでは、固定資産圧縮、固定資産取得シミュレーション等、16 項目のシミュレーションメニューを用意しています。

資料請求  
 注文希望 (注文用紙を送付します。)

\* すでにご注文をいただいたお客様にもこの FAX は届いております。

資料請求・ご注文は上欄に必要事項を記入の上、FAXにて当社までご返送下さい。

**FAX.0269-65-4745**

下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名と担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名	
ご担当者様	ご役職・部署名
ご住所 (商品送付先) 〒	
TEL	FAX
e-mail	決算月 月

「WISE FAXNET」では「Wisdom」ユーザー様に経審に関する最新情報、経審対策のワンポイントを紹介、月一回の発行となります。内容に関するお問い合わせ、バックナンバーの請求は弊社までご連絡下さい (バックナンバーの請求は「Wisdom99」をお持ちのユーザー様に限定させていただきます)。